

令和9年度(2027年度) 学生募集要項

特別総合推薦選抜

一次選考: 令和8年10月3日(土) 実施

二次選考: 令和8年11月22日(日) 実施

本選抜に合格し入学した方には中村治四郎
奨学金(学業特待枠S)として、所属学科の
授業料相当額の奨学金を給付します。
(最長4年間)



次代を描く感性、
世界を動かす実践力
九州産業大学

Contents

01 はじめに

- ・九州産業大学のアドミッション・ポリシー(入学者の受け入れ方針) P.01
- ・学部・学科のアドミッション・ポリシー(入学者の受け入れ方針) P.01

02 入試概要

- ・募集学部・学科および募集人員 P.04
- ・出願資格 P.04
- ・選考方法 P.05
- ・外部試験の活用について P.06
- ・入試日程および試験会場 P.07

03 出願について

- ・出願の流れ P.08
- ・出願書類について P.09
- ・障がい等による受験上・修学上の配慮について P.11

04 試験当日

- ・試験当日の時間割 P.12
- ・WEB受験票の印刷について P.12
- ・受験上の注意 P.12
- ・入学試験当日における不測の事態への対応 P.12

05 免責事項および不正行為について

- ・免責事項 P.13
- ・不正行為について P.13

06 合格発表および入学手続

- ・合格発表 P.14
- ・入学前教育 P.14
- ・入学者特別早期教育 P.14
- ・入学手続 P.14
- ・入学金・修学費および委託徴収金 P.15

出願関係書類 P.16

- ・推薦書(二次選考のみ)
- ・学修計画書(出願者自筆)
- ・主体性に係る活動等の調査書(出願者自筆)

入学志望に係る個人情報の取扱いについて

出願時の個人情報は、各種入学者選抜および合格発表に利用します。また、入試結果は志願者の属性等、各種統計資料作成のため、個人を特定できないように加工したうえで、出身学校等へ提供させていただくことがあります。以上の利用目的のため、九州産業大学が定める個人情報取扱いの基準を満たす企業(委託業者)に作業を委託しています。委託先に対しても、契約により適切な管理を義務付け、責任を持って管理しています。

■九州産業大学の個人情報管理に関する内容(個人情報の開示、訂正、削除等)については、以下へご連絡ください。

九州産業大学入試課

TEL : (092)-673-5550 [受付時間] 9 : 00 ~ 17 : 00(土日、祝日、年末年始等を除く)

Email : nyushi@ip.kyusan-u.ac.jp

01 はじめに

九州産業大学のアドミッション・ポリシー(入学者の受け入れ方針)

九州産業大学は、建学の理想「**産学一如**」に基づき、広く産業界の期待に応えられる「実践力」「熱意」「豊かな人間性」をもった人材を育成する教育を行っています。

本学の受け入れ方針は以下の通りです。

アドミッション・ポリシー

本学は、次の能力・意欲をもった人材から、基礎的な知識や適性を多面的・総合的に評価し、入学者選抜を行う。

1. 建学の理想と理念を理解し、学習意欲が高い人。
2. 物事を多面的に考察し、自分の考えをまとめることができる人。
3. 特定分野において卓越した能力をもっている人。

学部・学科のアドミッション・ポリシー(入学者の受け入れ方針)

国際文化学部

九州産業大学のアドミッション・ポリシーに従い、一定の学力を有する人材の中から、次の能力と意欲を有する者を選抜し、本学部の学生として受け入れる。

1. 建学の理想を十分に理解したうえで、諸外国と日本の文化理解に興味・関心を抱き、学習意欲の高い人物
2. 学問的関心を常に持ち、それを解決・発信する能力を身につけたい人物

《国際文化学科》

国際文化学科では、学部の要件に加え、次の能力と意欲を持つ人を受け入れる。

1. 英語の高度な運用力を身に付け、さらにその他の外国語を習得する意欲のある人
2. 諸外国の文化や国際事情を幅広く学びたい人
3. 外国語能力や外国文化の知識を活かし、コミュニケーション力を持って広く国際社会で活躍したい人

《日本文化学科》

日本文化学科では、学部の要件に加え、次の能力と意欲を持つ人を受け入れる。

1. 日本文化(文学・言葉・民俗・歴史)に関心がある人
2. 日本文化について、グローバルな視野から学ぶことに意欲のある人
3. 日本文化についての専門的な理解を通して、社会に貢献したいと考える人

人間科学部

人間科学部では、次の能力・意欲をもった人材から、基礎的な知識や適性を多面的・総合的に評価し、入学者の選抜を行う。

1. 建学の理想と理念を理解し、心理、スポーツや健康、幼児教育や保育に関心があり、学習意欲が高い人
2. 物事を多面的に考察し、自分の考えをまとめることができる人

《臨床心理学科》

臨床心理学科では、大学及び学部のポリシーに加え、次の能力・意欲をもった人を受け入れる。

1. 心理学や精神保健福祉学に関心があり、学習意欲が高い人
2. 物事を多面的に考察し、自分の考えをまとめることができる人
3. 人の心に寄り添い、適切に援助する態度・技術を学び、社会に貢献したいと考える人

《子ども教育学科》

子ども教育学科では、大学及び学部のポリシーに加え、次の能力・意欲をもった人を受け入れる。

1. 子どもの心身の健やかな成長を、支援するための知識や技能の獲得に、意欲的な人
2. 教育や保育の現場に不可欠なコミュニケーション力を、身につけている人
3. 保育に関する文化及び技能の獲得に、意欲的な人

《スポーツ健康科学科》

スポーツ健康科学科では、大学及び学部のポリシーに加え、次の能力・意欲をもった人を受け入れる。

1. 人間のからだやこころの健康に興味・関心があり、自らの健康や運動能力を高めると共に、多くの人を支えることに関心をもつ人
2. 子どもから高齢者までの人々の幅広いスポーツ活動や地域社会のヘルスプロモーションに関心があり、社会や産業に貢献したいと考えている人
3. スポーツのもつ文化的価値と意義を理解し、特定の領域、特に競技スポーツ分野において、優れた技能を獲得したいと考えている人

経済学部

経済学部では、次の意欲と能力を持った人材を積極的に受け入れる。

1. 入学前に経済学を学ぶ上で必要な基礎学力を持ち、大学での学修に、主体的に取り組もうとしている人。
2. 社会経済に関して幅広い関心を持ち、経済問題について説明できる人。

商学部は、ディプロマポリシーを実現するために、次のような資質・能力を持つ人物を受け入れる。

1. 現代社会に対して問題意識を持ち、課題を解決するための考えを表現できる。
2. 学業・課外活動等において、高等学校卒業相当として優秀と判断され得る実績を有する。
3. 企業活動全般に関心を有し、将来、これへ参画する意思を具体的に有する。
4. 他者との活動に意義を見出し、積極的に他者とのコミュニケーションを図ることができる。

九州産業大学のアドミッション・ポリシーを受けて、本学部では、次の能力・意欲をもった人材から、基礎的な知識や適性を多面的・総合的に評価し、入学者の選抜を行う。

1. 建学の理想と理念を理解し、観光や地域の活性化に関心があり、学習意欲が高い人
2. 物事を多面的に考察し、自分の考えを論理的にまとめることができる人

《観光学科》

大学及び地域共創学部のアドミッション・ポリシーに基づき、観光学科のアドミッション・ポリシーを以下のとおり定めている。観光学科では、上の要件に加え、次の意欲を持った人を受け入れる。

1. 地域を観光で活性化することやホスピタリティ産業に興味があり、学習意欲が高い人
2. 社会の諸問題を多面的に考察し、自分の考えを論理的に表現できる人
3. 外国語や深い教養を身につけて、グローバルまたはローカルで活躍したい人
4. 海外や地域に出向き、積極的な行動力と実践力を身につけたい人

《地域づくり学科》

大学及び地域共創学部のアドミッション・ポリシーに基づき、地域づくり学科のアドミッション・ポリシーを以下のとおり定めている。

地域づくり学科では、上の要件に加え、次の意欲を持った人を受け入れる。

1. 地域の活性化や振興に興味があり、学習意欲が高い人
2. 社会の諸問題を多面的に考察し、自ら解決し、地域の発展に寄与したい人
3. 自らの意志で地域に深く入り込み、その地域ならではの課題に向き合うことをいとわない人

理工学部に関連する学術分野で、創造的活動を行う人材と人間性豊かで国際的視野を持った人材を育成するために、次のような学生を受け入れる。

1. 情報科学・機械工学・電気工学又は情報メカトロニクスに興味がある人
2. 好奇心を持ち、何事にも積極的に取り組む人
3. 客観的な視点で物事を判断でき、自分の考えをまとめることができる人
4. 情報メカトロニクスに関連する分野の研究者・教育者を目指している人

《情報科学科》

情報科学科では、大学及び学部のポリシーに加え、次の人材から、基礎的な知識や適性を多面的・総合的に評価し、入学者選抜を行う。

1. 情報技術や情報数理に強い興味を持っている人
2. 情報科学に関する専門知識を身に付けようとする意欲が高く、技術の修得にも積極的に取り組む人
3. 情報分野を基盤とした機械工学や電気工学に関心をもち、多面的な視点から創造活動を行うことを目指す人、修得した知識を生かして地域社会に貢献したいと考えている人

《機械電気創造工学科》

機械電気創造工学科では、大学及び学部のポリシーに加え、次の能力・意欲をもった人を受け入れる。

1. 機械工学と電気電子工学に興味を持っている人
2. 学際的な視野と創造的な思考を身に付けようとする意識が高く、修得した技術・技能を活用して、これからの複雑な技術的課題に挑戦する意欲ある人
3. 学修の成果を機械工学と電気電子工学に関連する業務の現場で適切に活用して、地域社会に貢献したいと考えている人

《スマートコミュニケーション工学科》

スマートコミュニケーション工学科では、大学及び学部のポリシーに加え、次の能力・意欲をもった人を受け入れる。

1. 工学系の基礎知識に加え、AI やデータサイエンスなどの先端技術を学び、多文化的な視点を活かしたコミュニケーション能力を身に付けたい人
2. チームで協力しながら社会課題の解決に貢献したい人
3. 論理的思考力や探究心を持ち、多様なバックグラウンドを尊重し、柔軟で創造的にプロジェクトに取り組みたい人

生命科学部は、次の能力・意欲を持った人材を積極的に受け入れる。

1. 専門分野を学ぶ上で必要となる理科、数学、国語、英語等の基礎学力を有する人
2. 化学又は生物学領域の専門分野に興味があり、知識や技術を活かして社会に貢献したいと思っている人
3. 広い視野と公平・公正な判断力を養うために、幅広い学問領域についても学習する意欲のある人
4. 学内外の様々な活動に対して、協調性を持ちながら積極的に取り組むことのできる人

建築都市工学部は、工学における基礎的な知識をベースに、国土から住まいまで連続する空間のあり方を追求する広い視野を持ち、多様な社会ニーズに応えることのできる実践的能力を有した人材養成のため、次の人材から、基礎的な知識や適性を多面的・総合的に評価し、入学者選抜を行う。

1. 建築都市工学に関する学修意欲が高い人
2. 物事を多面的に考察し、自分の考えをまとめることができる人
3. 建築都市工学分野において卓越した能力を持っている人

《建築学科》

建築学科では、次の人材から、基礎的な知識や適性を多面的・総合的に評価し、入学選抜を行う。

1. 建築の計画・設計、歴史・意匠、構造・生産、材料・構法、環境・設備、都市計画など建築学を総合的に学ぶ意欲の高い人
2. 課題を発見し、多面的に考察しながら自分の考えをまとめ、他者と協働して表現できる人
3. 発展的な学びや実践的課題に主体的に取り組み、将来アドバンス科目などを通して専門性をさらに高めようとする意欲をもつ人

《住居・インテリア学科》

住居・インテリア学科は、次の人材から、基礎的な知識や適性を多面的・総合的に評価し、入学選抜を行う。

1. ① 空間、② 住居、③ 業務系施設のインテリア、④ 住居系複合施設のインテリアの設計に対して強い関心があり、住まう空間・働く空間・商空間の在り方、リノベーション、住環境評価、災害レジリエンスに関する学修意欲が高い人
2. 物事を多面的に考察し、自分の考えをまとめることができる人
3. 住居・インテリア学分野において卓越した能力を持っている人

《都市デザイン工学科》

都市デザイン工学科は、次の人材から、基礎的な知識や適性を多面的・総合的に評価し、入学選抜を行う。

1. 持続可能な環境づくりや、災害に強く、安心・安全で美しく住みやすいまちづくりに関する学修意欲の高い人
2. 物事を多面的に考察し、自分の考えをまとめることができる人
3. 都市デザイン工学分野において卓越した能力を持っている人

芸術学部は、次の能力・資質を持った人材から、基礎的な知識や適性を多面的・総合的に評価し、入学選抜を行う。

1. 建学の理想と理念を理解し、アートやデザインの分野に興味があり、創作意欲のある人
2. 好奇心を持ち、何事にも積極的に取り組む人
3. 客観的な視点で物事を判断でき、自己を発信できる人
4. 将来アーティストやデザイナー、写真家等のクリエイターや研究者・教育者を目指している人

《芸術表現学科》

芸術表現学科は、次の能力・資質を持った人材を積極的に受け入れる。

1. 美術・メディア芸術分野に興味があり、創作意欲のある人
2. 伝統的な技法から先端的な技術まで、好奇心を持って幅広く探求する人
3. 自由で豊かな発想と論理的な思考能力を持っている人
4. 芸術表現の分野に意欲的に挑戦しアーティスト、クリエイター、教育・研究者を目指す人

《写真・映像メディア学科》

写真・映像メディア学科は、次の能力・資質を持った人材を積極的に受け入れる。

1. 写真や映像メディアの技術に興味があり、創作意欲のある人
2. 表現の基礎から先端的な技術までを幅広く探求する人
3. 芸術性や実用性について、多面的に考察できる能力を持っている人
4. 写真のスペシャリストや映像メディアの表現者を目指している人

《ビジュアルデザイン学科》

ビジュアルデザイン学科は、次の能力・資質を持った人材を積極的に受け入れる。

1. ビジュアルデザインに興味があり、創作意欲のある人
2. 社会におけるビジュアルコミュニケーションの機能や役割を探究する人
3. ビジュアルデザインを多面的に考察し、自分の考えをまとめることができる人
4. グラフィックデザイナーやイラストレーター等のクリエイターを目指している人

《生活環境デザイン学科》

生活環境デザイン学科は、次の能力・資質を持った人材を積極的に受け入れる。

1. プロダクトや工芸、空間演出それぞれのデザインに興味があり、創作意欲のある人
2. 手加工によるモノづくりや新たなモノづくりの技術・技法や考え方を探究する人
3. 人間の生活環境を多面的に考察し、自分の考えをまとめることができる人
4. 生活環境分野のクリエイターを目指している人

《ソーシャルデザイン学科》

ソーシャルデザイン学科は、次の能力・資質を持った人材を積極的に受け入れる。

1. 情報デザインや企画デザインに興味があり、創作意欲のある人
2. 地域産業や地域文化、地域創生の技術・技法を幅広く探求する人
3. 地域社会の課題を多方面に考察し、自分の考えをまとめることができる人
4. ソーシャルデザイン分野のクリエイターやプロデューサーを目指している人

グローバル・フードビジネス・プログラムのアドミッション・ポリシー

次に掲げる知識、技能や能力、目的意識、意欲を備えた人を受け入れる。

1. 高等学校卒業レベルの基礎的な知識を有し、さらにそれ以外の知識も含めて、幅広く社会や文化に関連する内容に関心を持っている人
2. 学部の専門分野に加え、フードビジネス、経済、経営の分野について強い興味や関心を持ち、マネジメント、テクノロジー等の諸分野を広く学びたいという知的好奇心を有する人
3. 学んだ知識・技能を生かしフードビジネス分野で活躍する意欲を持つ人
4. 食に関する専門知識を身に付け、グローバルな視点で持続可能な社会の発展に貢献する意欲を持つ人
5. 学び得た知識、技能を実社会で実践するための思考力・判断力・表現力の向上に強い意欲のある人
6. 自身の想像力と思いやりをもって、多様な価値観を持つ人々と協力、協働することを学びたい人

02 入試概要

募集学部・学科および募集人員

(単位：人)

学部	学科	募集人員
国際文化学部	国際文化学科	若干名
	国際文化学科GFBP	若干名
	日本文化学科	若干名
人間科学部	臨床心理学科	若干名
	子ども教育学科	若干名
	スポーツ健康科学科	若干名
経済学部	経済学科	若干名
商学部	経営・流通学科	若干名
	経営・流通学科GFBP	若干名
地域共創学部	観光学科	若干名
	観光学科GFBP	若干名
	地域づくり学科	若干名
	地域づくり学科GFBP	若干名
理工学部	情報科学科	若干名
	機械電気創造工学科	若干名
	スマートコミュニケーション工学科	若干名

学部	学科	募集人員
生命科学部	生命科学科	若干名
	生命科学科GFBP	若干名
建築都市工学部	建築学科	若干名
	住居・インテリア学科	若干名
	都市デザイン工学科	若干名
芸術学部	芸術表現学科 (美術専攻) (メディア芸術専攻)	若干名
	写真・映像メディア学科 (写真専攻) (映像メディア専攻)	若干名
	ビジュアルデザイン学科 (グラフィックデザイン専攻) (イラストレーションデザイン専攻)	若干名
	生活環境デザイン学科 (生産造形デザイン専攻) (空間演出デザイン専攻)	若干名
	ソーシャルデザイン学科 (情報デザイン専攻) (企画デザイン専攻)	若干名
	ソーシャルデザイン学科GFBP	若干名

(注) 芸術学部は専攻で募集します。

(注) GFBPはグローバル・フードビジネス・プログラムの略称

出願資格[専願制]

次のすべてに該当する者

- ① 本学での勉学を強く希望し、入学を志す者で、**合格した場合は、必ず入学する者**(専願制)
- ② 令和9年度3月に高等学校(中等教育学校含む)を卒業見込みの者、もしくは高等学校(中等教育学校含む)を卒業した者(高等専門学校3年修了見込みおよび3年修了の者を含む)
- ③ 出身高等学校長が学業成績・人物ともに優秀と認めて推薦する者(二次選考のみ)

「中村治四郎奨学金」制度について

特別総合推薦選抜で合格して入学された方には、所属する学部学科の授業料相当額の奨学金を、入学後、年2回に分けて給付します。

入学手続時は、①入学金②修学費③委託徴収金を納付いただきます。

2年次以降の奨学金受給の継続には、一定の学業成績を満たす必要があります。

選考方法

各学部とも、以下の選考方法により多面的・総合的に評価して入学者を決定します。

基礎テストは、3科目90分(1科目30分)です。

グローバル・フードビジネス・プログラム (GFBP) 対象入試の選考方法は出願学部と同様です。

一次選考

(単位：点)

学部	基礎テスト			書類審査
	英語	国語	数学	
国際文化学部	50	50	50	100
人間科学部	50	50	50	100
経済学部	50	50	50	100
商学部	50	50	50	100
地域共創学部	50	50	50	100
理工学部	50	50	50	100
生命科学部	50	50	50	100
建築都市工学部	50	50	50	100
芸術学部	50	50	50	100

二次選考

(単位：点)

学部	面接	プレゼンテーション	備考
国際文化学部	50	50	●プレゼンテーションについて 国際文化学科・日本文化学科 「本学科に入学して探究したい専門分野やテーマ」について、具体例を示しつつ自由にプレゼンテーションを行ってください。 (15分程度：プレゼンテーションの詳細については一次選考合格発表時に提示します) ※プレゼンテーションは、Microsoft Power Point ファイル^{注1}によるスライド資料(書式自由)を用いて行ってください。スライド資料のデータは試験当日にUSBフラッシュメモリ等で持参してください。 注1：Microsoft社が提供しているプレゼンテーションソフトウェア ※国際文化学科は、質疑応答を英語で行う場合があります。また、プレゼンテーションの言語は英語可。 ※Microsoft Power Pointを使用できない場合は、事前に相談してください。
人間科学部	50	50	●プレゼンテーションについて 臨床心理学科 「心の支援」に関するプレゼンテーション：一次選考合格時にテーマを提示します。 ※プレゼンテーション時にA3サイズ2枚程度の資料(書式自由)を持参してください。 子ども教育学科 「子どもと教育」に関するプレゼンテーション：一次選考合格時にテーマを提示します。 ※プレゼンテーション時にA3サイズ2枚程度の資料(書式自由)を持参してください。 スポーツ健康科学科 「スポーツと健康」に関するプレゼンテーション：一次選考合格時にテーマを提示します。 ※プレゼンテーション時にA1サイズ～模造紙の四六判サイズ程度のポスター資料(書式自由)を持参してください。
経済学部	50	50	●プレゼンテーションについて 「経済に関する内容」のプレゼンテーション：一次選考合格時にテーマを提示します。 ※プレゼンテーション時にA3サイズ2枚(書式自由)を持参してください。
商学部	50	50	●プレゼンテーションについて 「経営学・商学」に関するプレゼンテーション：一次選考合格時にテーマを提示します。 ※プレゼンテーション時に発表資料(書式自由)を4部を持参してください。
地域共創学部	50	50(※1)	●プレゼンテーションおよび質疑応答について 観光学科：「観光」に関する内容 一次選考合格時にテーマを提示します。 地域づくり学科：「地域づくり」に関する内容 一次選考合格時にテーマを提示します。 ※プレゼンテーションの時間は1受験者あたり20分です。プレゼンテーション後に質疑応答を行います。プレゼンテーションは、Microsoft PowerPointを用いてファイルを作成してください。Microsoft PowerPointファイルは、次の①・②のように提出・持参してください。 ① 出願書類に、ご自身が作成したMicrosoft PowerPoint ファイルのスライドをA4用紙に印刷して添付してください(印刷する際にA4用紙に割当るスライド枚数は自由です)。 ② 試験当日は、ご自身が作成したMicrosoft PowerPointファイルをUSBメモリ(接続方法：USB Type-A)に保存し持参してください。なお、USBメモリにMicrosoft PowerPointファイルを保存する際、ファイルの拡張子が「.ppt」、もしくは「.pptx」の形式になっていることを確認してください。 【備考】出願書類の時点(①)から試験当日(②)までに、Microsoft PowerPointファイルの内容に変更を加えても構いません。ただし、変更を加えた場合は、質疑応答の際に変更箇所を伺う可能性があります。 ※Microsoft PowerPointを使用できない場合は、事前に相談してください。

学部	面接	プレゼンテーション	備考
理工学部	50	50(※2)	情報科学科・スマートコミュニケーション工学科 一次選考合格発表時に問題やテーマ等の詳細情報を提示します。 ※プレゼンテーション時に必要な資料(Microsoft PowerPointやPDFで作成したスライド等)を事前に準備し、USBメモリ等で保存して持参してください。なお、プレゼンテーションで使用するPCやプロジェクター、黒板等は持参する必要はありません。 機械電気創造工学科 一次選考合格発表時に数学Ⅲおよび物理(力学分野)の問題を提示します。 口頭試問には、その問題の解法についてのプレゼンテーションを含みます。(方法は自由)その後、内容に関する質疑と関連する問題について回答いただきます。
生命科学部	50	50(※3)	●プレゼンテーションについて プレゼンテーションのテーマ、方法等については一次選考合格時に提示します。
建築都市工学部	50	50	●プレゼンテーションについて 一次選考合格時に課題(テーマ)を提示します。 ※プレゼンテーション時にA1サイズ～模造紙の四六判サイズ程度のポスター資料(書式自由)を持参してください。
芸術学部	50	50	●面接について 面接時はポートフォリオ等の作品を持参することも可能です。ただし、面接評価には含みません。 ●プレゼンテーションについて 全学科：プレゼンテーション(10分程度) ・発表内容をまとめた資料(A4サイズ縦)を、自分の分を含めて3部制作して持参してください。 ・プレゼンテーションには、自分で持込んだ機器(パソコン等)を利用できます。 ※機材の貸出は行いません。機器の操作はご自身で行ってください。 大学側でネットワーク環境の提供はしないため、各自で準備してください。 ・以下の(1)または(2)から1つを選択してください。 (1)自身が制作した作品についてのプレゼンテーションの場合 ・自身が制作した作品、ポートフォリオ等の資料を持参してください。 ・制作意図、制作過程、工夫した点などを文章と図を用いて説明してください。 ・グループで制作した作品の場合は、自分がどの部分を担当したのかを説明してください。 ・持参した作品は、プレゼンテーション終了後、持帰ってください。 ・映像作品の場合、発表するデータのみをUSBフラッシュメモリ(ウイルスに感染していないもの)に記録して、プレゼンテーション終了時に提出してください。 ※USBメモリは返却しません。 (2)提示されたテーマに対する小論文についてのプレゼンテーションの場合 ・テーマについての自分の考え、意見等、持参資料(様式自由)を用いて説明してください。 ・テーマ以外に、新たに自分で調べたことや、提案したいことがあれば、プレゼンテーションに追加しても構いません。 ・テーマは一次選考合格後に提示します。

※1. 地域共創学部の面接は、質疑応答を含みます。

※2. 理工学部情報科学科およびスマートコミュニケーション工学科は、口頭試問(数学)を含む。機械電気創造工学科は、口頭試問(数学Ⅲおよび物理[力学分野])を含む。

※3. 生命科学部は、プレゼンテーション終了後、高校理科に関する基礎学力(履修状況に応じて生物または化学)の筆記試験を行う。

(注)グローバル・フードビジネス・プログラムは二次選考で15分程度のプレゼンテーションを課します。一次選考合格時に詳細を提示します。

外部試験の活用について

志願者が保有する外部試験の得点・資格のレベルに応じて、基礎テスト「英語」の得点に換算し可否判定を行います。

外部試験活用のみなし得点については下表のとおりです。なお、出願期間内にスコアを提出できる試験に限ります。

証明書類の提出方法についてはP.09「外部試験結果を証明できる書類の提出方法(みなし得点利用者のみ)」を参照してください。

		実用英語技能検定 (英検) スコア	GTEC (4技能)	TEAP (4技能)	TEAP CBT	IELTS TM	ケンブリッジ 英語検定	TOEFL iBT※2
みなし 換算値	50点換算	2304	1180	309	600	5.5	160.0	72.0
	45点換算	2150	1050	267	510	4.5	150.0	57.0
	40点換算	1980	930	225	420	4.0	140.0	42.0
	35点換算	1800	880	195	—	—	—	—
	30点換算	1700	—※1	—※1	—	—	—	—
	25点換算	1600	850	188	—	—	—	—

(注) 1. 配点が50点満点ではない場合は、配点に合わせて換算します。

2. 本学の**基礎テスト「英語」の受験は必須**。

3. 実用英語技能検定の「英検S-CBT」も、通常の英検として扱う。

4. 実用英語技能検定(英検)は、**1級・準1級・2級のいずれかを受験**し、上記のスコア(総合)を取得していること。(可否不問)

※1. 該当のみなし得点はありません。上下のみなし得点に換算されます。

※2. TOEFL iBTを2026年1月21日以降受験した場合の換算値：72.0=4.0 57.0=3.5 42.0=3.0

入試日程および試験会場

	出願期間	試験日	合格発表	入学手続期限
一次選考	令和8年 9月9日(水) ～9月17日(木) ※WEB出願サイト登録は最終日の 12:00まで ※出願書類は締切日 必着 ※検定料の支払いは23:59まで	令和8年 10月3日(土)	令和8年 10月12日(月) 13:00	—
二次選考	令和8年 11月2日(月) ～11月9日(月) ※WEB出願サイト登録は最終日の 12:00まで ※出願書類は締切日 必着 ※検定料の支払いは23:59まで	令和8年 11月22日(日)	令和8年 12月1日(火) 13:00	令和9年 1月13日(水) 15:00まで

(注) 1. 出願書類は出願期間内の**必着**です。

2. 出願書類締切日に限り、出願書類一式を九州産業大学入試課(1号館1階)窓口へ持込み可能です(9:00～17:00)。

試験地および試験会場

【一次選考】

福岡(九州産業大学試験会場)のみで実施します。

試験会場の詳細は当日各号館1階または1号館1階メインホールに掲示します。

【二次選考】

福岡(九州産業大学試験会場)のみで実施します。

試験会場の詳細は当日各号館1階または1号館1階メインホールに掲示します。

03 出願について

出願の流れ

ログイン・ 個人情報の 登録

WEB出願サイトでマイページ登録をしてください。
WEB出願サイトは九州産業大学のホームページ(入試情報サイト)からアクセスするか、右のQRコードからアクセスしてください。

WEB
出願サイトは
コチラ→



顔写真の 登録

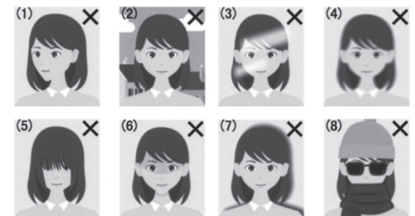
顔写真をアップロードしてください。
アップロード用の顔写真は、上半身正面から撮影してください。背景の無い明瞭なもの(白黒・カラーは自由)でかつ脱帽してください。**顔写真は入学試験当日の本人確認用として使用します。**

※顔写真は私服でも可。
※試験当日の顔写真の持参は不要です。

適切な写真の例



不適切な写真の例



- (1) 正面を向いていない(顔が横向き等)
- (2) 無背景でない(風景や柄が写っている)
- (3) 照明が反射している(顔や鏡に光が反射して一部が見えない)
- (4) ピンボケや手振れにより不鮮明
- (5) 前髪が長すぎて目元が見えない
- (6) 顔に影がある
- (7) 背景に影が写っている
- (8) マフラーやスカーフで輪郭が隠れている

出願登録

マイページメニューから出願登録してください。
志望する入試種別、志望学部学科(専攻)を選択し出願登録します。
出願情報や個人情報に誤りがある場合は、出願をキャンセルした上で、マイページへ戻り登録内容の変更・修正をしてください。

入学 検定料の 支払い

入学検定料: 32,000円 一次選考(10,000円)、二次選考(22,000円)
手数料を含めた納付金額(サービス手数料がかかります。)を確認し、検定料の決済方法を選択してください。決済方法は4つあります。以下のいずれかの方法を選択し、支払いを期限内に済ませてください。

クレジットカード決済

下記のクレジットカードよりお支払いが可能です。
VISA、Mastercard、JCB、Diners、AMERICAN EXPRESSが利用できます。志願者本人の名義でなくても構いません。

銀行ATM(ペイジー)

下記の他にPay-easy対応の金融機関をご利用いただけます。
※現金での支払金額の上限は10万円です。
10万円を超える支払いはキャッシュカードが必要です。
Pay-easyマークが貼付されている銀行ATMが利用できます。
志願者本人名義でなくても構いません。
(銀行例) ゆうちょ銀行、福岡銀行、熊本銀行、三井住友銀行、みずほ銀行、三菱UFJ銀行、十八親和銀行 等

対応銀行は
こちらで
ご確認ください



コンビニエンスストア決済

下記のコンビニエンスストアよりお支払いが可能です。
※現金のみの取扱いとなります。支払金額の上限は30万円です。
セブンイレブン、ローソン、ファミリーマート、デイリーヤマザキ 等が利用できます。

ネットバンキング

ネットバンキングによるお支払いは、登録完了時に発行されるURL(お支払いサイト)経由のみから行うことができ、その他サービスからはご利用いただけません。
※ご利用には、ネットバンキングの利用契約が必要です。

志願票の 印刷

出願登録完了後、志願票をダウンロードし、印刷してください。
志願票に表示されている写真が規格を守っているか確認してください。

出願書類の 郵送

志願票とその他の出願書類を全て揃え、市販の角2(A4)封筒に入れてください。
封筒に宛名ラベル(WEB出願サイトから印刷)を貼付け、必ず簡易書留・速達で郵送してください。やむを得ず宛名ラベルが印刷できない場合は、必ず封筒に**出願番号、氏名、住所**を記入してください。

※出願書類の種類は入試種別により異なります。学生募集要項の「出願書類一覧」を確認してください。
※送付先が入試種別によって異なります。封筒に手書きをする場合は十分に注意してください。
※書類の到着状況はマイページ上では表示しません。簡易書留・速達の**追跡サービス**でご確認ください。

送付先

〒815-8799
福岡南郵便局留
九州産業大学 入試課 行

出願一覧を 確認

マイページメニューの出願確認から出願一覧を確認できます。
年明入試(一般選抜 等)では追加出願もこのページから出来ます。検定料の支払いや大学に郵送する志願票はここから印刷してください。出願登録済の登録内容は修正できません。
ただし、検定料の入金前であれば出願取消ボタンで出願登録を取消して再度出願登録を行うことが出来ます。

出願書類について

出願書類は、**不足または不備がある場合は受け付けません**。学生募集要項を参照し、必ず確認のうえ出願してください。
出願後は、志望学部・学科(専攻)等の変更は一切認めません。また、一度受付けた書類は返却いたしません(必要に応じてコピーを手元に残してください)。

出願書類一覧表 (一次選考)

No.	書類名	内容
①	志願票	① WEB出願サイトのマイページメニューの「出願登録一覧」から志願票をダウンロードし、プリンターで印刷してください。 ② 志願票に表示されている顔写真が正しい規格か確認してください。
②	調査書	文部科学省規定の様式により「全体の学習成績の状況」または「学習成績概評」を記入したものを 必ず厳封のまま提出 してください。
③	学修計画書	本学の所定の書式で作成してください。 学修の目的(将来ビジョンまたは展望等)の実現のために、高校在学中にどのように学び、どのように過ごしたかを記述したうえで、大学4年間でどのように学び、どのように過ごすかを具体的に記述してください。
④	主体性に係る活動等の調査書	本学の所定の書式で作成してください。 高校在学期間中に、あなたが自分の意思で取り組んだ活動について記述し、根拠資料とともに提出してください。
⑤	外部試験結果を証明できる書類 (みなし得点利用者のみ)	本学が指定する各種協会等が発行する成績証明書を提出してください。合格証・スコア等は原本のコピーでも可能です。ただし、スコア等を記載したインターネット画像を印刷したものは認められません。みなし得点の詳細に関しては下記を参照してください。

- (注) 1. 「学修計画書」および「主体性に係る活動等の調査書」の書式については、P.16「出願関係書類」を印刷し使用してください。
 2. 志願票は顔写真(インターネット出願登録の際にアップロードする)が表示されているものを提出してください。
 3. 本学の受験に際し、特別な配慮を希望される方は、P.11「障がい等による受験上・修学上の配慮について」を参照してください。

外部試験結果を証明できる書類の提出方法(みなし得点利用者のみ)

資格・検定	証明書類の名称	証明書類の提出形態		注意事項
		原本	コピー・印刷	
実用英語技能検定(英検)	合格証明書(和文・英文どちらでも可)	可	可	・4技能すべてを受験しているスコアであること。 なお、各技能スコアの基準点はありません。 ・S-CBT、S-Interview形式含む。 ※いずれか1つの証明書類を提出してください。 ※「デジタル証明書」は、受験者マイページより出力したものの。
	CSEスコア証明書	可	可	
	合格証書	可★	可	
	個人成績表	不可	可	
	デジタル証明書	—	可	
GTEC(4技能)	OFFICIAL SCORE CERTIFICATE	可	可	・オフィシャルスコアに限る。 ・CBT形式を含む。
TEAP(4技能)	TEAP成績表 (OFFICIAL SCORE REPORT)	可	可	・同一試験日のスコア合計点のみ有効。
TEAP CBT	TEAPCBT成績表 (OFFICIAL SCORE REPORT)	可	可	・同一試験日のスコア合計点のみ有効。
IELTS™	成績証明書	可★	可	・アカデミックモジュールに限る。
ケンブリッジ英語検定	認定証	可★	可	いずれか1つの証明書類を提出してください。
	認定ステートメント	可	可	
TOEFL iBT	Test Taker Score Report	可	可	・TOEFLiBT® Home Editionは除く。 ・Test Dateスコアのみ有効。 ・My Best スコアは利用不可。 ※いずれか1つの証明書類を提出してください。 ※Test Taker Score Report(PDF版)は、ETSアカウントページより出力したものの。
	Test Taker Score Report(PDF 版)	—	可	

★=1度しか発行されないもの

外部試験結果証明書類の提出について

原本をそのまま提出する場合

- ・ 原本をそのまま提出してください。
- ・ この場合、出身高等学校による証明は不要です。
- ・ 提出された証明書は返却いたしません。

原本を提出できない場合(例：発行が1回のみ など)

- ・ 原本からコピーしたもの、またはスコアを印刷したものを提出してください。
- ・ その際は「原本からの正しい複製であることを証明」および「スコア内容が正しいこと」を、出身高等学校長が証明し、提出してください。
- ・ 証明は「コピーを提出する場合の例」を参照し、学校が次のように記載してください。

記載例：「この書類は原本からの正しい複製であることを証明します。」

記載の上で、**出身高等学校長の署名(ゴム印可)**と**学校長印**を押印してください。

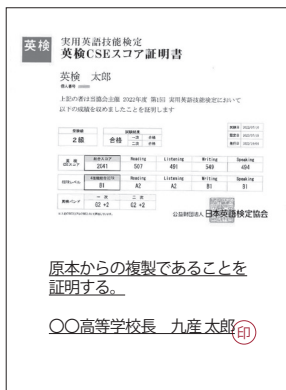
この書類は**厳封(封筒に封をすること)**は不要です。



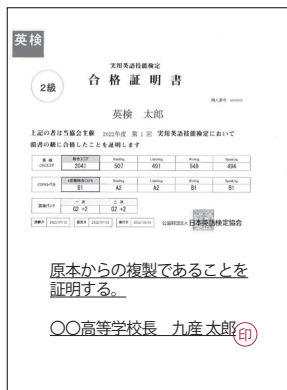
- ・ 提出された証明書、コピーは返却いたしません。
- ・ 不備がある場合、出願が受理できないことがありますのでご注意ください。

コピーを提出する場合の例

〈実用英語技能検定(英検):CSEスコア証明書〉



〈実用英語技能検定(英検):合格証明書〉



〈実用英語技能検定(英検):合格証書〉



〈GTEC:OFFICIAL SCORE CERTIFICATE〉



出願書類一覧表 (二次選考)

一次選考合格者は、WEB出願サイトの登録と入学検定料の入金及び以下の書類の提出をもって出願となります。

No.	書類名	内容
①	志願票	① WEB出願サイトのマイページメニューの「出願登録一覧」から志願票をダウンロードし、プリンターで印刷してください。 ② 志願票に表示されている顔写真が正しい規格か確認してください。
②	推薦書	本学所定の「推薦書」を使用し、出身高等学校長が作成したものに限りです。厳封していませんものは無効です。
③	事前課題 (課された学科のみ)	一次選考合格後に発表された内容に基づいて、作成し提出してください。

障がい等による受験上・修学上の配慮について

本学の受験に際し、疾病や障がい等のため、受験上の特別な配慮を希望される方は、申請書請求フォームで特別配慮に係る申請書類をご請求の上、配慮申請を行ってください。なお、申請に基づいて障がい等の状況に応じた配慮を行います。ご希望に添えない場合もありますので予めご了承ください。申請が入学試験の可否に影響することはありません。申請期限後の不慮の事故等(交通事故、負傷、発病等)により受験上の配慮を希望する場合は、九州産業大学入試課までお問合せください。

■ 受験上の配慮について

(1) 申請方法

- ・ 右のQRコードを読み、フォームから配慮申請書をご請求ください。
請求後、① 申請要領 ② 受験時特別配慮申請書 ③ 健康診断書を自動送信メールにて送付いたします。
- ・ 申請要領に基づいて申請を行ってください。

配慮申請書
請求フォームは
こちら



(2) 提出期限

各入試出願開始日の2週間前まで

お問合せ先

九州産業大学 入試課
TEL:092-673-5550(直通)
mail : nyushi@ip.kyusan-u.ac.jp

■ 入学後の修学上の配慮について

入学後の修学上の配慮、学生生活等に関しては、出願前からインクルージョン支援室に問合せることができます。

お問合せ先

九州産業大学
インクルージョン支援室
TEL:092-673-5911(直通)

04 試験当日

試験当日の時間割

試験当日は、8:30に開場します。**9:30まで**に指定の教室に入室し、指定の席に着席してください。試験開始後、**10分以上**遅刻した場合は、受験することができません。時間割は以下の通りです。



公共交通機関の遅延により、やむを得ず試験遅刻限度時間を過ぎた場合は、直ちに九州産業大学入試課まで連絡してください。

一次選考

区分	全学部共通
入室	8:30～9:30
出欠確認・問題配付・注意事項の説明	9:35～10:00
試験(英語・国語・数学)	10:00～11:50

二次選考

区分\学部	全学部共通
入室	8:30～9:30
出欠確認・注意事項の説明	9:35～10:00
プレゼンテーション・面接等	10:00～ (詳細は一次選考合格後に通知)

WEB受験票の印刷について

- 出願受付完了後にWEB出願サイトのマイページメニューの「オンライン受験票」より、受験票(PDF形式)を印刷してください。なお、出願直後に「受験票」が表示されることはありません。**出願書類を精査後に入試3日前13:00を目途**に表示いたします。
※受験票の郵送は行いません。
※出願書類に不備がある場合は、受験票の発行はできません。
- 試験当日は**印刷した受験票を必ず持参してください**。万が一受験票を忘れた場合は直ちに1号館1階入試課まで申出てください。
- 顔写真を持参する必要はありません。
- WEB出願で出願登録した内容と受験票の内容が異なる場合は、九州産業大学入試課までお問合せください。

受験上の注意

- 机の上には、「受験票」「黒鉛筆またはシャープペンシル」「消しゴム」「時計(時間機能だけのもの)」以外の携行品を置いてはいけません。ただし、ティッシュを使用する場合は、袋から中身を出して机の上に置いてください。
- 携帯電話や音の出る機器を所持している場合は、試験室内では必ず電源を切り、カバン等に収めてください。携帯電話等を時計として使用することはできません。
- 定規、コンパス、下敷き、電卓類、ボールペン等の使用は認めません。
※用具等を忘れた受験生に対し、貸出しは一切行いません。
- 試験時間終了までは退室できません。また、面接終了後は、再び面接控室に入室することはできません。
- 試験場においては、係員の指示に従ってください。
- 本学試験場へは、原則として公共の交通機関を利用してください。
- 事前の会場の下見は前日の12:00～17:30まで可能です。ただし、試験教室のある建物の1階フロアまでとします。

入学試験当日における不測の事態への対応

- 不測の事態(地震などの自然災害や火災、停電、公共交通機関の遅延等)の発生により、試験開始時刻の繰下げや正規の試験時間を確保するための試験時間の延長、それらを理由とした休憩時間の調整などの措置をとることがあります。
- その他緊急の対応を必要とする事項などにつきましては、その詳細を本学ホームページに掲載します。また、試験当日の緊急連絡等については、出願前に登録いただいたメールアドレスに送信する場合があります。

05 免責事項および不正行為について

免責事項

(1) 不可抗力による事故等について

台風、地震、洪水、津波等の自然災害または火災、停電、その他不可抗力による事故等や交通機関の乱れが発生した場合、試験開始時刻の繰下げ、試験の延期等の対応措置をとることがあります。ただし、それに伴う受験者の不便、費用、その他の個人的損害については何ら責任を負いません。

(2) 感染症に罹患した場合等について

学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症(インフルエンザ、麻疹、風疹等)に罹患し治療していない場合、他の受験生や監督員等への感染のおそれがあるため、受験をご遠慮ください。また受験をご遠慮するなど欠席した場合でも、追試験の実施や入学検定料の返還は行いません。

不正行為について

九州産業大学／九州産業大学造形短期大学部では、真摯に受験に臨む受験生の皆さんが不利益を被ることがないように、不正行為者に対し厳正な措置を執ります。入学選抜試験における不正行為およびその取扱いはこちらのとおりです。

出願書類について

- ① 出願の際に本学に提出した書類・資料、提供した情報等に偽造・虚偽記載・剽窃等(WEB出願サイトで本人以外の顔写真を登録するなどを含む)があった場合は、不正行為となります。

筆記試験について

不正行為となること

- ① 解答用紙に本人以外の氏名・受験番号を記入するなど、故意に虚偽の記入をすること。
- ② 別の受験者になりすまして受験すること。
- ③ カンニング(試験科目に関する参考書、メモやコピーなどを机上等に置いたり見たりすること、他の受験者の解答等を見ること、他の人から答えを教わることなど)をすること。
- ④ 他の受験者に答えを教えたり、カンニングの手助けをしたりすること。
- ⑤ 解答開始の指示前に、問題冊子を開いたり、解答を始めたこと。
- ⑥ 解答終了の指示に従わず、鉛筆や消しゴムを持っていたり、解答を続けたりすること。
- ⑦ 試験時間中に、指定された文具以外を使用すること。
- ⑧ 試験時間中に、携帯電話、スマートフォン、タブレット型端末、腕時計型端末、電子辞書、ICレコーダー等の電子機器類を使用すること。
※電子機器類については、電源のON/OFFに関わらず、かばんの外に出ている時点で使用とみなします。
- ⑨ 配付された問題冊子・解答用紙を試験室から持出すこと。

不正行為となる場合があること

- ① 試験時間中に、参考書等をかばん等にしまわず、机上に置いていたり、手に持っていたりすること。
- ② 試験時間中に、携帯電話や時計等の音(着信・アラーム・振動音など)を長時間鳴らすなど、試験の進行に影響を与えること。
- ③ 試験に関することについて、自身や他の受験者が有利になるような虚偽の申出をすること。
- ④ 問題冊子や解答用紙の共有・閲覧等の疑いのある行為を行うこと。
- ⑤ 試験時間中に、長い間机の下に手を入れたり、服のポケット等に手を入れたりすること。
- ⑥ 試験場において、他の受験者の迷惑となる行為をすること。
- ⑦ 試験場において、試験監督者等の指示に従わないこと。
- ⑧ その他、試験の公平性を損なうおそれのある行為をすること。

面接試験について

不正行為となること

- ① 面接試験中に他の人と連絡をとりあうこと。
- ② 面接試験を録画・録音すること。
- ③ 面接終了後に、これから面接を行う他の受験者に内容を伝えること。
- ④ 受験者控室または面接室前で待ち時間に携帯電話等の通信機器を使用すること。

不正行為となる場合があること

- ① 受験者控室または面接室前で無用な会話をすること。
- ② 受験者控室または面接室前で係員の指示に従わないこと。
- ③ 面接終了後に、面接控室へ再入室すること。
- ④ その他、試験の公平性を損なうおそれのある行為をすること。

06 合格発表および入学手続

合格発表

選考結果は、**合格発表日の13:00**からWEB出願サイトのマイページメニュー「**合否結果**」で発表します。

以下の流れで合否照会を行ってください。

- ① マイページにログインし、マイページメニューから「**合否照会**」をクリックする。
- ② オンライン合否照会のページで受験番号と合否結果を確認する。

※合格通知等は発送しません。

※学内での掲示による発表は行いません。

※合否および成績に関する問合せには、一切応じません。

入学前教育

合格した場合、各学部で実施される「**プレ・エントランスデー**」および「**課題**」がある場合は、

必ず出席または提出してください。

詳細は合格者に別途通知します。

お問合せ先

基礎教育センター

TEL: 092-673-5470

入学者特別早期教育

特別総合推薦選抜の合格者には、各学科で特別に設定した入学者特別早期教育を行います。特別な事情がないにもかかわらず学部が指定する入学者特別早期教育に取組まない場合は、合格を取消することがあります。

入学手続

- (1) 合格者は、WEB出願サイトの「**入学手続**」からアクセスできる「**合格者専用サイト**」に従い、**定められた期限内にすべての入学手続を完了してください**。入学手続完了とは以下の内容がすべて完了したことをいいます。

※入学手続関係の書類は郵送しません。必ず「**合格者専用サイト**」をご確認ください。

- ① 入学金および修学費等の納付(納付金額は次のページを確認)
- ② 入学手続登録(保証人情報・顔写真の登録)
- ③ 高等学校卒業証明書の提出(既卒者を除く)

定められた期限までに入学手続を完了しない場合は、入学できない場合があります。

- (2) 入学手続期限

二次選考合格発表日	納付期限・入学手続登録期限	高等学校卒業証明書の提出期限※
令和8年12月1日(火) 13:00	令和9年1月13日(水) 15:00まで	令和9年3月10日(水) 必着

※出願時に既に高等学校を卒業している場合は、送付する必要はありません。

提出先

〒813-8503

福岡市東区松香台2丁目3番1号

九州産業大学 入試課 行

- (3) 入学手続に必要な書類

高等学校卒業証明書(卒業見込証明書は不可)

高等学校の卒業式終了後、至急送付してください。

ただし、入学試験出願時に既に高等学校を卒業している場合は、送付する必要はありません。

- (4) 合格者は、入学式の日までWEB出願サイトのマイページを常に確認するようにしてください。入学手続に関する連絡がマイページに表示されます。

入学金・修学費および委託徴収金

納付方法

WEB出願サイトの「入学手続」ボタンをクリックし、「全納(入学金+1年次の学費等を一括で納付する。)」または「分納(入学金+1年次の学費等を2回に分けて納付する。)」のいずれかを選択してください。次に入金方法(ATM支払い(ペイジー)、クレジットカード決済、インターネットバンキング)のいずれかを選択し、それぞれの納付期限までにお支払いください。

納付額一覧(令和9年度入学者適用)

(単位:円)

1年次の納付金額		国際文化学部 経済学部 商学部 地域共創学部	人間科学部			理工学部	生命科学部	建築都市工学部	芸術学部
			臨床心理学科	子ども教育学科	スポーツ健康科学科				
第1回納付額	入学金①	200,000							
	修学費	授業料	380,000	370,000	400,000	425,000	500,000	500,000	515,000
		教育充実費	100,000	110,000	145,000	200,000	225,000	225,000	250,000
	委託徴収金		15,900						
	小計②		495,900	495,900	560,900	640,900	740,900	740,900	780,900
第2回納付額	修学費	授業料	380,000	370,000	400,000	425,000	500,000	500,000	515,000
		教育充実費	100,000	110,000	145,000	200,000	225,000	225,000	250,000
	小計③		480,000	480,000	545,000	625,000	725,000	725,000	765,000
入学時分割納付(分納)①+②		695,900	695,900	760,900	840,900	940,900	940,900	940,900	980,900
入学時一括納付(全納)①+②+③		1,175,900	1,175,900	1,305,900	1,465,900	1,665,900	1,665,900	1,665,900	1,745,900

(注) 1. 第1回納付額は、入学金(入学時のみ)・年間授業料の半額・年間教育充実費の半額・委託徴収金の合計額。

2. 第2回納付額は、年間授業料の半額・年間教育充実費の半額の合計で、納付期限は10月中旬予定。

(単位:円)

2年次以降の納付金額	国際文化学部 経済学部 商学部 地域共創学部	人間科学部			理工学部	生命科学部	建築都市工学部	芸術学部
		臨床心理学科	子ども教育学科	スポーツ健康科学科				
2年次納付額	972,000	972,000	1,102,000	1,262,000	1,462,000	1,462,000	1,462,000	1,542,000
3年次納付額	972,000	972,000	1,102,000	1,262,000	1,462,000	1,462,000	1,462,000	1,542,000
4年次納付額	1,008,000	1,008,000	1,138,000	1,298,000	1,498,000	1,498,000	1,498,000	1,578,000
在学期間納付金 合計	4,127,900	4,127,900	4,647,900	5,287,900	6,087,900	6,087,900	6,087,900	6,407,900

(注) 2年次以降の金額は、経済情勢その他の変動により、改めることがあります。

グローバル・フードビジネス・プログラム(GFBP)授業料および教育充実費

(単位:円)

1年次の納付金額		国際文化学部 経済学部 商学部 地域共創学部	国際文化学科	商学部	地域共創学部	生命科学部	芸術学部 ソーシャルデザイン学科
第1回納付額	入学金①	200,000					
	修学費	授業料	380,000	380,000	380,000	428,000	434,000
		教育充実費	100,000	100,000	100,000	150,000	160,000
	委託徴収金		15,900				
	小計②		495,900	495,900	495,900	593,900	609,900
第2回納付額	修学費	授業料	380,000	380,000	380,000	428,000	434,000
		教育充実費	100,000	100,000	100,000	150,000	160,000
	小計③		480,000	480,000	480,000	578,000	594,000
入学時分割納付(分納)①+②		695,900	695,900	695,900	793,900	809,900	
入学時一括納付(全納)①+②+③		1,175,900	1,175,900	1,175,900	1,371,900	1,403,900	

委託徴収金(内訳)

(単位:円)

内 容		納付金額 全学部共通
入学時のみ	学友会入会金	2,000
	学生教育研究災害傷害保険料	1,900
毎年度	学友会費	4,000
	後援会費	8,000
4年次のみ	アルバム代金	9,000
	同窓会費	24,000
	卒業記念事業費	3,000

(注) 1. 学生教育研究災害傷害保険料は、保険期間の4年分を入学時に一括納付。

2. アルバム代金、同窓会費、卒業記念事業費は、4年目のみ納付。

出願関係書類

- 推薦書(二次選考のみ)
- 学修計画書(出願者自筆)
※必ず両面印刷(A4サイズ)をし、出願者の
自筆で作成・提出してください。
- 主体性に係る活動等の調査書(出願者自筆)

(令和9年度)

(二次選考用)
【特別総合推薦選抜】

受験
番号

2

※この欄は記入しないこと

推 薦 書

令和 年 月 日

九州産業大学長殿

推薦者 所在地

学校名

学校長名

印

貴大学の推薦選抜の出願資格に基づき、次の者を適格と認め、ここに推薦いたします。

志望学部 学科 (専攻・プログラム)	学部	学科	専攻 プログラム
フリガナ			
氏名			

※芸術学部およびグローバル・フードビジネス・プログラムを志望の方は専攻・プログラム欄までご記入下さい。

推薦する学生の多面的評価

1 主体的な活動 および実績など				
2 Rubric評価 … 1 に対する評価を記入してください。				
アドミッション・ ポリシー	1. 建学の理想と理念を理解し、学習意欲が高い人 2. 物事を多面的に考察し、自分の考えをまとめることができる人 3. 特定分野において卓越した能力をもっている人			
要素	レベル			評価
	3	4	5	
実 践 力 熱意 / 豊かな人間性	・物事のどこに問題があるか自ら考え行動することができる。 ・社会や地域に貢献する意欲がある。	・仲間と合意形成を図ることができる。 ・仲間と協力しながら行動できる。 ・社会や地域に貢献するため、熱意を持って行動できる。	・他者の意見を尊重することができる。 ・問題解決のための企画を立案し、熱意を持って行動できる。 ・結果を振り返り次の行動に移すことができる。	
知 識 ・ 技 能 学 習 意 欲	・興味があることにに対して自ら学習できる。 ・様々な学習活動に積極的に参加し、レベルアップのため努力できる。	・様々なことにに対して興味があり、自ら学習できる。 ・苦手なことに対しても積極的に取り組むことができる。	・将来を見据えて必要な能力を考え、それに向けて学習できる。 ・自らの成長のために学習を継続して努力することができる。	
思 考 力 表 現 力	・自分と人の意見を整理して考え、その意見と理由のつながりを考えることができる。 ・相手に伝わるように工夫して表現できる。	・他者の意見を取り入れながら自分の意見を整理して説明できる。 ・様々な情報の中から問題点を見つけ解決に向けた行動ができる。	・筋道を立てて考え、理由をつけて説明できる。 また、他の意見を聞き考えの正当性を判断できる。 ・様々な情報を取捨選択し自分の意見を順序よく説明できる。	
1 に対する 特記事項				

- (注) 1. 本評価は、レベル3～5に該当しない場合でも、通常どおり判定いたします。
2. 本推薦書により、記載いただいた活動について、面接時に確認いたします。
3. 高校在学時の活動に限り、ご記入ください。
4. 「評価」および「特記事項」については、記載ができるもののみご記入ください。

(一次選考用)
【特別総合推薦選抜】

受験 番号	2	※この欄は記入しないこと
----------	---	--------------

学修計画書

高等学校名	高等学校	フリガナ 氏 名	
科/コース等 (注)1		生年月日	平成 年 月 日生
志望学部・学科 専攻			

◎学修の目的（将来ビジョンまたは展望等）の実現のために、高校在学中にどのように学び、どのように過ごしたかを記述したうえで、大学4年間でどのように学び、どのように過ごすかを具体的に記述してください。

[illegible]

(令和9年度)

※主体性に係る活動等の調査書は活動ごとに1枚作成してください。
※芸術学部は専攻までご記入ください。
グローバル・フードビジネス・プログラム志望の方は
☐にチェックして下さい。

(一次選考用)
【特別総合推薦選抜】

受験 番号	2	※この欄は記入しないこと
----------	---	--------------

令和 年 月 日

主体性に係る活動等の調査書

高等学校名	高等学校	フリガナ	
		氏名	
志望学部 学科/専攻	☐ グローバル・フードビジネス・プログラム	生年 月日	

(1)活動名称	(2)活動形態
	☐ 個人 ☐ 団体・チーム ☐ その他 ()

(3)活動内容

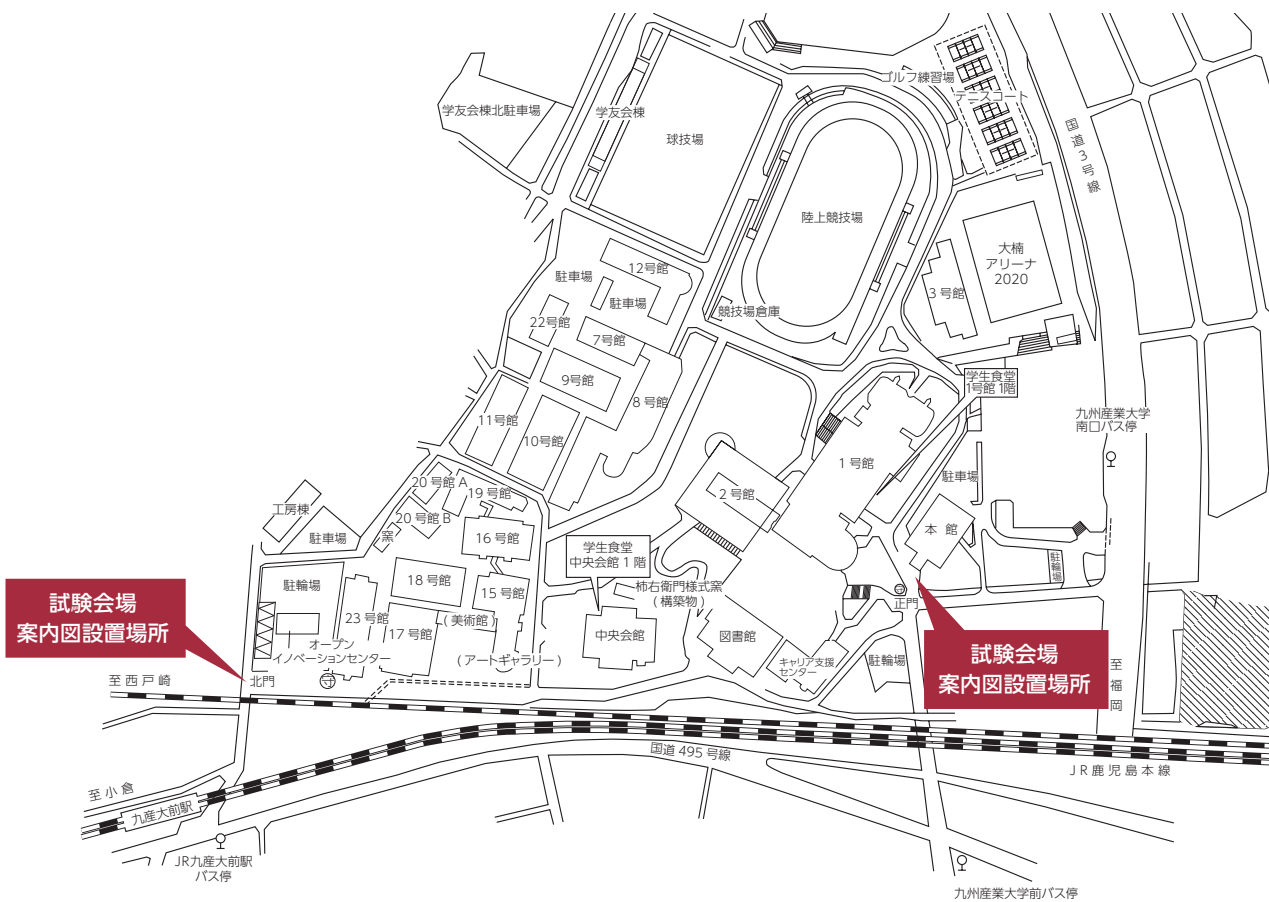
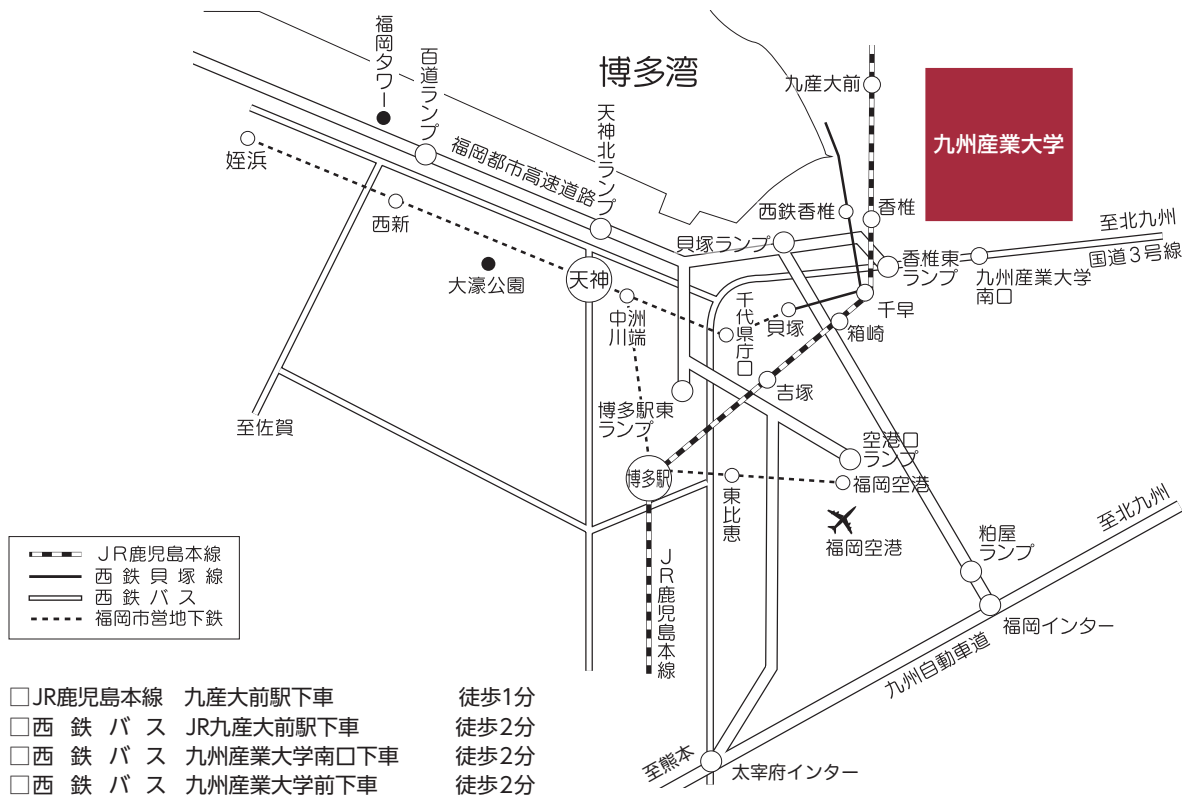
(4)活動期間	
① 令和 年 月 日～令和 年 月 日	
② 令和 年 月 日～令和 年 月 日	
③ 令和 年 月 日～令和 年 月 日	
④ 令和 年 月 日～令和 年 月 日	

(5)活動における実績(団体・チームの活動の場合は自らの役割を実績と合わせて記入してください)

(6)主体的な活動を通して得られた学び、または成長した部分

※主体性に係る活動等を証明する資料は、必ず本紙を表紙としてホッチキスで左上を止めて提出すること。

■ 学内案内図

**MAP**

九州産業大学入試課

〒813-8503 福岡市東区松香台二丁目3番1号
TEL 092-673-5550 (直通) FAX 092-673-5988 (直通)
ホームページ <https://www.kyusan-u.ac.jp/nyushi/>

次代を描く感性、世界を動かす実践力



九州産業大学